

公益社団法人日本ボート協会
強化委員会

2017 年度日本代表候補選考レース結果について

選考委員会による選考

「男女シニア・U23 軽量級は、シングルスカル・ダブルスカル・クォドルプル」を、「男子シニア・U23 オープンは、シングルスカルおよびペア」を、「女子シニア・U23 オープンはシングルスカル・ダブルスカル」を、それぞれの編成の基本として考え、それが成立するレベルにあるかを議論し選考しました。

27 日の代表者会議においてレースの格がタイムより上位とすると説明した通り、実際のレースにおけるタイムが速い場合でもより高いレベルのレースに参加していることを優先しています。

例) LM1x の FB で 1 位の越智選手のゴールタイム (7 分 21 秒) は FA で 6 位の武田選手の 7 分 26 秒より速いがランクは武田選手が上位となります。Ideal Time によって単純に順位づけられるものではない、ということです。

選考委員会での議論により、新たに日本代表候補 A と日本代表候補 B という 2 つのカテゴリーを作成し選考しました。(U19 については、「A」「B」を置かず、一つの「日本代表候補」としてしています。このことについては後述。)

Ideal Time による基準と人数基準

当日のコンディションにより Ideal Time だけでは評価が難しくなったため、人数による選考を並行させました。その結果、Ideal Time の順位、且つ、下記の人数以内の者を選考しました。

シニア男子軽量級	9 名以内+1 名※1
シニア女子軽量級	6 名以内
U23 軽量級男子	7 名以内
U23 軽量級女子	3 名以内
シニアオープン女子	3 名以内
U23 オープン女子	3 名以内+1 名※2
シニアオープン男子	4 名以内
U23 オープン男子	4 名以内
U19 男子	6 名以内
U19 女子	6 名以内

シニア・U23 カテゴリー代表選手に関する定義

・「シニア・U23 代表候補 A 選手」：ワールドカップおよび世界選手権を視野に入れ強化を続け、今後の国内合宿での評価、さらには 6 月または 7 月のワールドカップまでの実績・戦績によって世界選手権またはアジア選手権に出場する選手。

・「シニア・U23 代表候補 B 選手」：今後の国内合宿および軽量級選手権の結果から代表候補 A に編入されるかもしくはアジア選手権に出場する選手。

選考結果

男子シニア軽量級 A 6 名

池田裕紀（トヨタ紡織）、大元英照（アイリスオーヤマ）、佐藤翔（新日鐵住金）、福井康（東レ滋賀）、奈良和紀（新日鐵住金）、武田匡弘（関西電力美浜）

男子シニア軽量級 B 3 名

越智寛太（今治造船）、青松載剛（東レ滋賀）、三浦友之（NTT 東日本）

男子シニアオープン A 2 名

荒川龍太（NTT 東日本）、栗原誠和（明治安田生命）

女子シニア軽量級 A 6 名

富田千愛（明治大学）、高島美晴（明治大学）、山領夏実（DENSO）、川本藍（トヨタ自動車）、土屋愛（明治安田生命）、福本温子（トヨタ自動車）

女子シニアオープン A 2 名

榊原春奈（貞山クラブ愛知）、米川志保（早稲田大学）

男子 U23 軽量級 A 7 名

福井康（東レ滋賀）、武田匡弘（関西電力美浜）、宮浦真之（中央大学）、古田直輝（明治大学）、内田達大（早稲田大学）、岩本拓馬（中部電力）、古米峻知（日本大学）

男子 U23 オープン B 1 名

野村颯士朗（トヨタ自動車）

女子 U23 軽量級 A 2 名

高島美晴（明治大学）、成瀬歩美（明治大学）

女子 U23 軽量級 B 1 名

角谷真緒（立教大学）

女子 U23 オープン A 1 名

米川志保（早稲田大学）

女子 U23 オープン B 2 名

中条彩香（DENSO）、高野晃帆（立命館大学）

継続評価 2 名

西村光生（アイリスオーヤマ）※1

木野田沙帆子（早稲田大学）※2

U19 代表候補

代表候補選手に関する定義

・U19 代表候補選手は海外遠征に参加します。（4 月下旬～5 月上旬予定）

(1) 海外遠征に参加する『U19 代表候補選手』の中からその遠征でのパフォーマンスにより、「U19A」選手を選考し、その「U19A」の選手を「世界ジュニア選手権」および「アジアジュニア選手権」に派遣します。

(2) 『U19 代表候補選手』の内、海外遠征（4 月下旬～5 月上旬予定）の結果、「U19A」とされなかった選手は「世界ジュニア選手権」に派遣されません。「世界ジュニア選手権」に出場するのは、海外遠征の結果「U19A」と認められた選手のみとなります。

(3) 『U19 代表候補選手』の内、海外遠征（4 月下旬～5 月上旬予定）の結果、「U19A」とされなかった選手がアジアジュニア選手権に出場したい場合は、下記(4)に示す「第 15 回全日本ジュニア選手権」に出場しなければなりません。

(4) 上記「U19A」以外の選手で、「アジアジュニア選手権」に出場する選手は「第 15 回全日本ジュニア選手権」の結果から選考します。

したがって「アジアジュニア選手権」に出場するのは、海外遠征（4 月下旬～5 月上旬予定）の結果【「U19A」と認められた選手】＋【「第 15 回全日本ジュニア選手権」で選考された選手】となります。

男子 U19 代表候補 6 名

遠山秀雄（伏見工業高校）、島田隼輔（瀬田工業高校）、境凌輔（米子工業高校）、太田海也（備前緑陽高校）、河畑晴斗（美方高校）、大輪龍斗（潮来高校）

女子 U19 代表候補 5名

西田結惟（加茂高校）、石垣優香（法政大学）、礮梨菜（美方高校）、新田明美（美方高校）、藤田彩也香（早稲田大学）

以上

註)

※1 西村選手（アイリスオーヤマ）継続評価について

異なるレースにおいて正当な評価をするための、キーパーソンをオープン荒川選手および軽量級佐藤翔選手とし、これらの選手とのタイム差を評価しました。

3月14日の予選では荒川・佐藤ほぼ同タイム。

3月30日の決勝においてもほぼ同タイム。

荒川選手と西村選手のタイム差は約5秒+

佐藤選手のタイムに5秒を足したタイムは軽量級Aファイナル6位の武田選手と同等。したがって西村選手のパフォーマンスはFAレベルの可能性ありと評価しました。引き続き評価を継続する事とします。

※2 木野田選手（早稲田大学）継続評価について

オープン女子シングルBにおいて木野田選手は、今後のオープン種目の強化を鑑み、引き続き評価を継続する事とします。

また、軽量級選手権時のオープン小艇タイムトライアル（ペア）の結果にて優秀なIdeal Timeを示したクルーを新たにナショナルBチーム（アジア選手権が目標）に加えることがあります。